

第3回 紀の川市ワークショップ(9/23開催) 実施報告書

平成29年11月

目次

1.実施概要	2
2.各ラウンドの進め方	4
3.各ラウンドの結果	6
4.アンケート結果	8

1.実施概要

市民ワークショップの実施概要

第3回市民ワークショップの実施概要(実施日時、実施場所、対象者、参加者数、実施内容)は以下のとおりです。

実施日時	平成29年9月23日(土)13:00～15:30
実施場所	紀の川市役所本庁舎7階ラウンジ
対象者	公募
参加者数	50名 (内訳:高校生15名、市民35名)
実施内容	<ul style="list-style-type: none">当該分野における役割分担を考える(第1ラウンド～第3ラウンド)振り返り(第4ラウンド)発表

2.各ラウンドの進め方

各ラウンドの進め方

今回の市民ワークショップの各ラウンドの「テーマ」「手法」「時間」「実施手順」は以下のとおりです。

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	振り返り／アクションプラン
テーマ	当該分野(各テーブルに割り振られた分野)における役割分担を考える	当該分野(各テーブルに割り振られた分野)における役割分担を考える	当該分野(各テーブルに割り振られた分野)における役割分担を考える	第1～3ラウンド結果を確認し今後のアクションプランを考える
手法	個人・グループ	個人・グループ	個人・グループ	個人
時間	25分	25分	25分	10分
実施手順	<p>■個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 割り振られた分野または基本施策において、各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)ができるることを考え付箋に記載する <p>■グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で検討した結果を各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)に分類し、グループでディスカッションする 	<p>■個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 割り振られた分野または基本施策において、各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)ができるることを考え付箋に記載する <p>■グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で検討した結果を各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)に分類し、グループでディスカッションする 	<p>■個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 割り振られた分野または基本施策において、各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)ができるることを考え付箋に記載する <p>■グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で検討した結果を各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)に分類し、グループでディスカッションする 	<p>■個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 各分野または各基本施策における各主体(市民、地域・自治区、団体、事業者)ができることの意見出しの結果を見て、共感できる役割にシールを貼る(1人何枚でもOK) 第1～3ラウンドのワークショップ結果を踏まえて、自分がやりたいことを“アクションプラン”として掲げる(アンケート用紙に記載する)

3.各ラウンドの結果

各ラウンドの結果まとめ

今回の市民ワークショップの各ラウンドの結果まとめは別紙【資料2-2】をご参照ください。



4.アンケート結果

第3回市民ワークショップ アンケート結果①（自身がやりたい取り組み 自由記述）

市民一人一人のアクションプランとして、幅広い分野の取り組み内容を回答いただきました。

「私のアクションプランシート」として、本日のワークショップを踏まえ、ご自身では是非やってみたい取り組み内容を記載してください。

① 防災・防犯について

やってみたい取り組み
防犯カメラの必要性(災害、防犯など)
消防団を中心とした地域防災力の充実強化
防災についてより勉強したい。

② 医療・健康・福祉について

やってみたい取り組み
紀の川市民の一人一人が健康で長生きできるように体を動かす環境づくりを振興していきたい。
障がい者や高齢者などの手助けをする。
障がい者に対する接し方(接するのではなくてもどう関わっていくか)について自分の考えを深めたい。また、みんなの「生きがい」につながる社会づくりの視点を持つ。
障がい者と楽しく遊べるもの(てくてく体操)

第3回市民ワークショップ アンケート結果①（自身がやりたい取り組み 自由記述）

市民一人一人のアクションプランとして、幅広い分野の取り組み内容を回答いただきました。

「私のアクションプランシート」として、本日のワークショップを踏まえ、ご自身では是非やってみたい取り組み内容を記載してください。

③ 学校・家庭・地域教育について

やってみたい取り組み
教育に携わるものとして、学校で地域の伝統、産業、その他いろいろなことを伝えていき、ひいては経験させるような機会を与えてあげたい。
避難訓練の抜き打ち制を学校に提案する。
誰かに伝えるためにまず自分がたくさん学ぶ。
もっと地域のことを知るために勉強したい。
粉河高校生としてKoKo塾というボランティア活動を頑張る。

④ 生涯学習・生涯スポーツについて

やってみたい取り組み
サイクル、ランニングステーションの設置に協力する。
総合型地域スポーツクラブによる青少年健全育成と健康体力寿命の延長。
障がい者の生涯学習の場づくり(様々な人が学べる場づくり)

第3回市民ワークショップ アンケート結果①（自身がやりたい取り組み 自由記述）

市民一人一人のアクションプランとして、幅広い分野の取り組み内容を回答いただきました。

「私のアクションプランシート」として、本日のワークショップを踏まえ、ご自身では非やってみたい取り組み内容を記載してください。

⑤ 農業振興について

やってみたい取り組み
フルーツのまちとして、安心、安全、おいしい物を生産しなければならない。
農業振興として、家庭菜園をすればいいと思う。
農業経営維持対策
農業振興において、新たな団体を設置していくために現在進めており今後さらに加速して行いたい。
地産地消に意識を向ける。

⑥ 産業振興・雇用・就労について

やってみたい取り組み
もっと地域との交流を増やし、地元の商店などをできるだけ多く利用していきたい。

第3回市民ワークショップ アンケート結果①（自身がやりたい取り組み 自由記述）

市民一人一人のアクションプランとして、幅広い分野の取り組み内容を回答いただきました。

「私のアクションプランシート」として、本日のワークショップを踏まえ、ご自身では是非やってみたい取り組み内容を記載してください。

⑦ 観光・交流について

やってみたい取り組み
「ぶる博2」でカメラ搭載ドローンで桃畠空撮を成功させます。
ぶるぶるトウクトウクを必ず実現させて紀の川市の新しい名物をつくると共に貴志川線→和歌山線間を便利にした、観光客や学生さんたちにとって有意義なものにします。あと、フルーツツーリズム頑張ります。
他府県が行っている地域活性化の真似を止め、紀の川市独自の地域活性化（農業資源を活用した）の推進をする。

⑧ 都市基盤・公共交通・生活環境について

やってみたい取り組み
地域の掃除
ごみの分別を行う。
ごみの減量
自転車マナーへの意識をむける。
公共交通を積極的に選択肢に入れる。

第3回市民ワークショップ アンケート結果①（自身がやりたい取り組み 自由記述）

市民一人一人のアクションプランとして、幅広い分野の取り組み内容を回答いただきました。

「私のアクションプランシート」として、本日のワークショップを踏まえ、ご自身では是非やってみたい取り組み内容を記載してください。

⑨ 観光・交流・地域づくりについて

やってみたい取り組み	やってみたい取り組み
地域の誰もが集える居場所づくり。(社会的不利な立場の人に対しても安心して生活できるように環境や理解を深め整えていく)	地域の情報発信
市民交流やボランティアを行う。	人権意識を高める。
自治活動に協力する。	地域の方々とのコミュニケーションをとり、地域を活性化させる。また、ボランティアに積極的に参加し、活動する。
ゲストハウスづくり	老若男女問わずのあいさつ運動をしていこうと思う。
コミュニティの充実。	いろんな世代の交流(地域のイベント、スポーツなどで)
行政の事業内容の宣伝	市がやってくれる行事には積極的に参加し、周りの人たちにも広めていきたい。
問題点にしっかり目を向け、地域の方と協力し合ってできることから行動に移す。(地域参加)	地域ボランティアを推進し、地域の方たちの生きがい等を見出し、楽しい人生を送れるようにいきたい。
地域の人たちとの付き合いをふやす。	近所の人たちとの交流を深め、困ったとき助けたり、助けてもらったりなど助け合いをしてお互いが気持ちのよい交流がしたい。

第3回市民ワークショップ アンケート結果①（自身がやりたい取り組み 自由記述）

市民一人一人のアクションプランとして、幅広い分野の取り組み内容を回答いただきました。

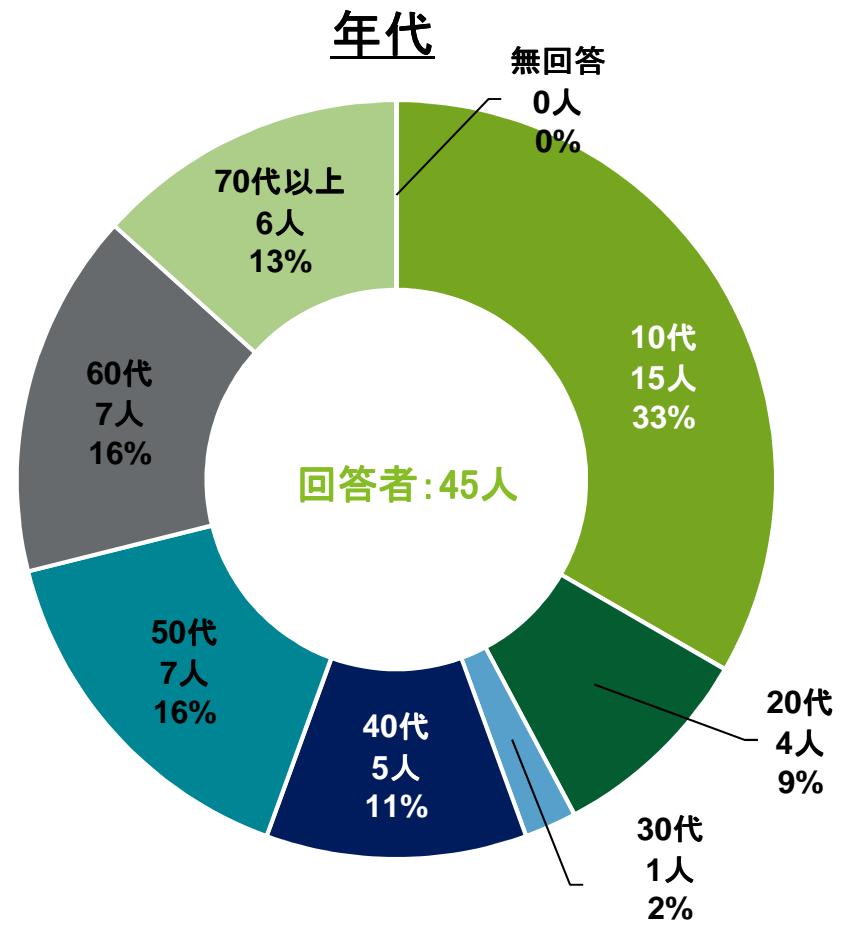
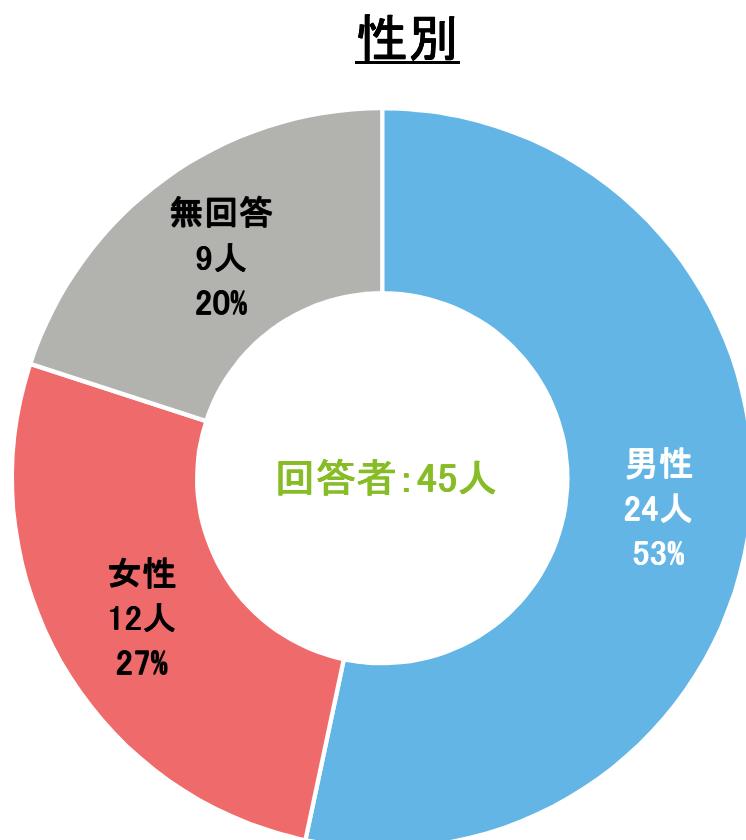
「私のアクションプランシート」として、本日のワークショップを踏まえ、ご自身では非やってみたい取り組み内容を記載してください。

⑩ その他について

やってみたい取り組み
いろんな取り組みを行っているが、認知されていないものが多いと感じたのでまずはみんなに知ってもらうところからはじめたいと思いました。
紀の川市(または各エリア)において、高齢者や障がい者、母子家庭などが安心して暮らせる「ローカルタウン」の実現→モデル化
高校生でもできるような対策は自ら進んでいきたい。

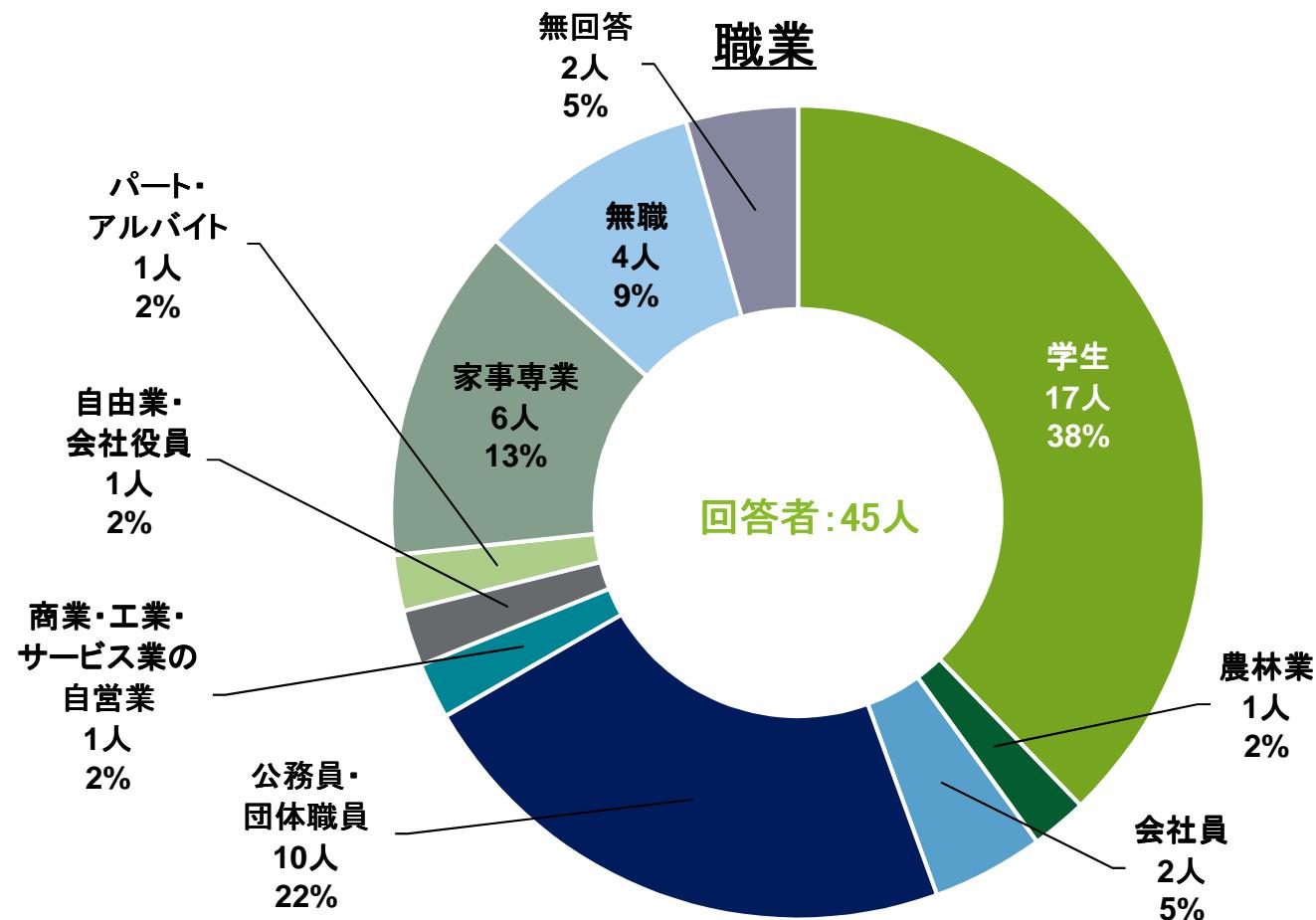
第3回市民ワークショップ アンケート結果②

参加者のうち最も多い年代は10代の33%、次いで50代の16%、60代の16%と全体として性別・年代ともに偏りがなく、幅広く参加しました。



第3回市民ワークショップ アンケート結果③

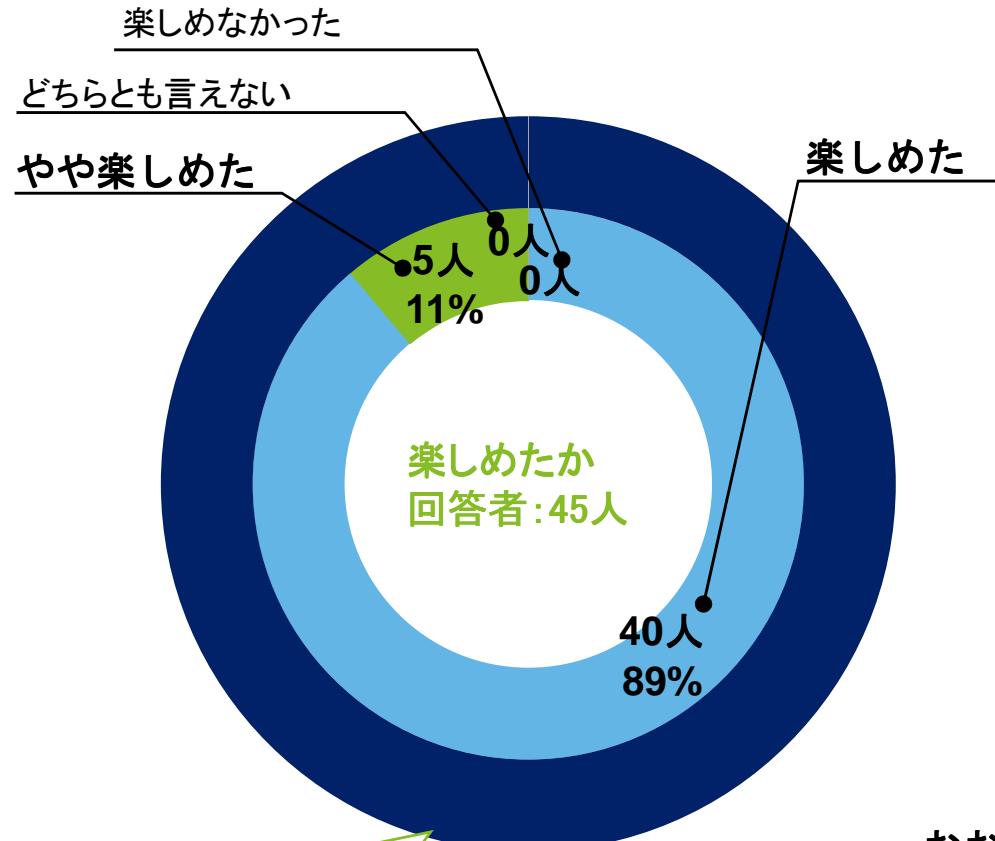
参加者のうち38%と学生が最も多い、次に公務員・団体職員が22%、家事専業13%と全体として幅広い職業が参加しました。



第3回市民ワークショップ アンケート結果④

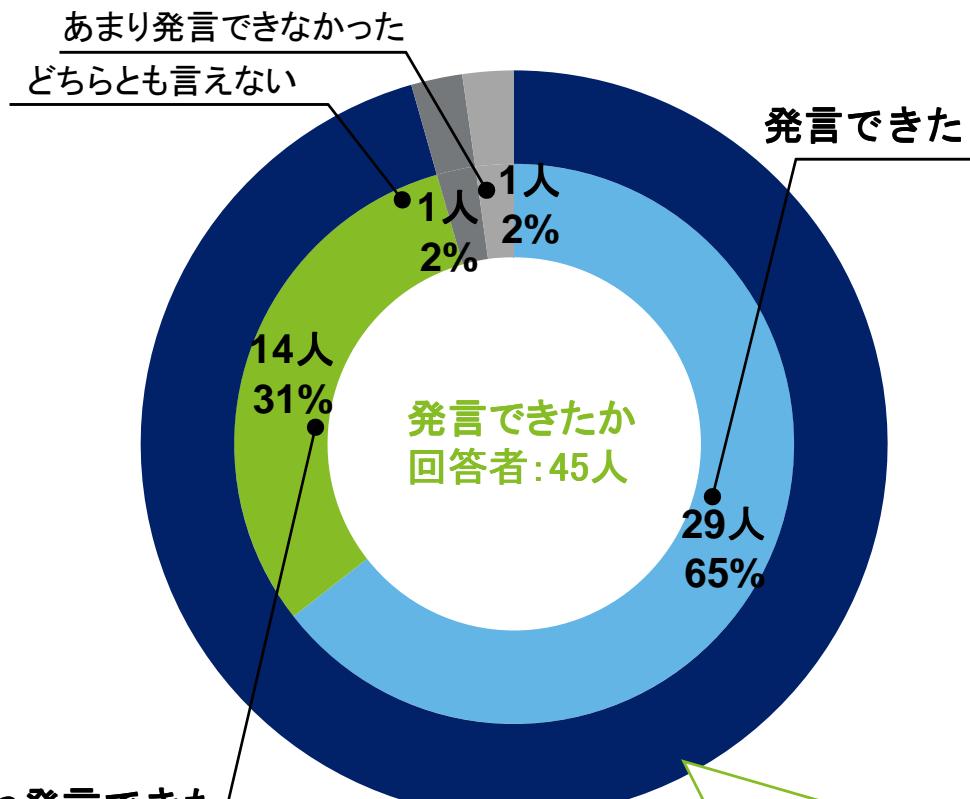
ほぼ全ての方が、ワークショップをお楽しみいただき、活発な意見を交わされました。

(1) 本日のワークショップはお楽しみいただけましたか？



「楽しめた」「やや楽しめた」と回答した方の割合は、100%

(2) 本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？



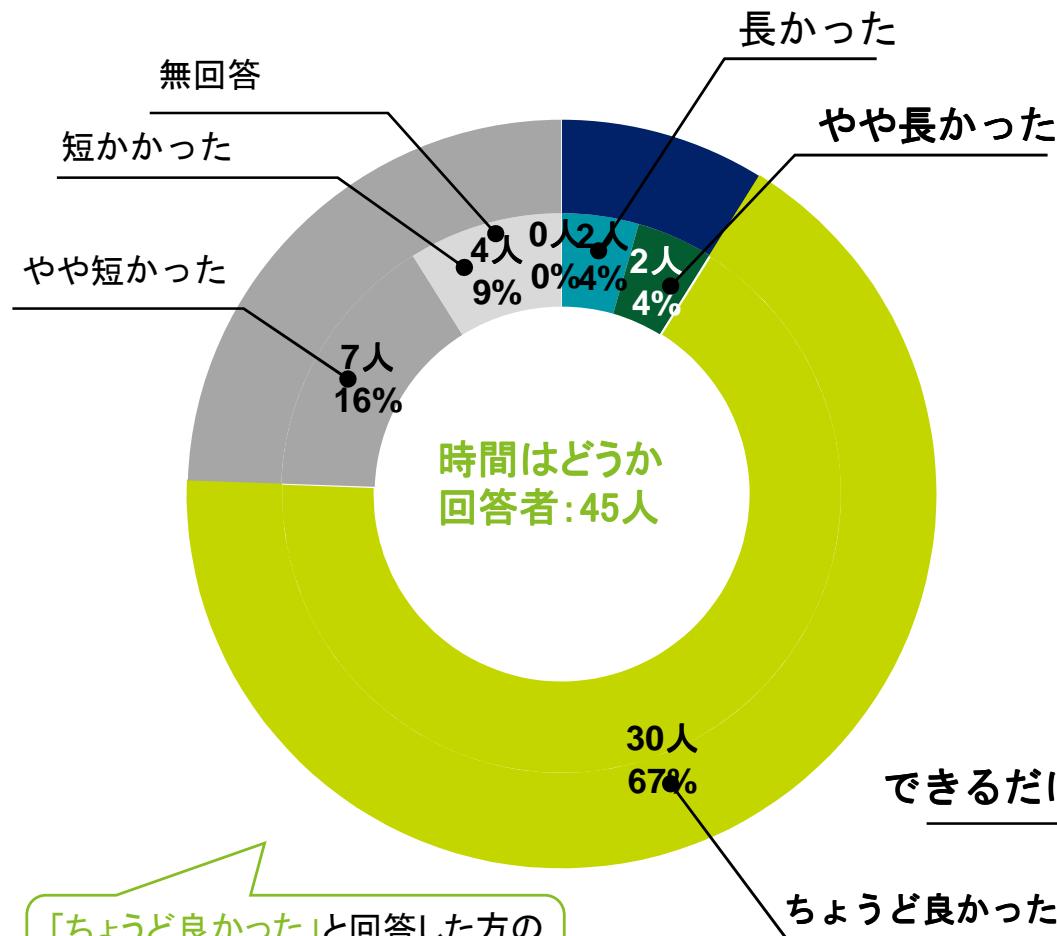
「発言できた」「おおむね発言できた」と回答した方の割合は、96%

第3回市民ワークショップ アンケート結果④

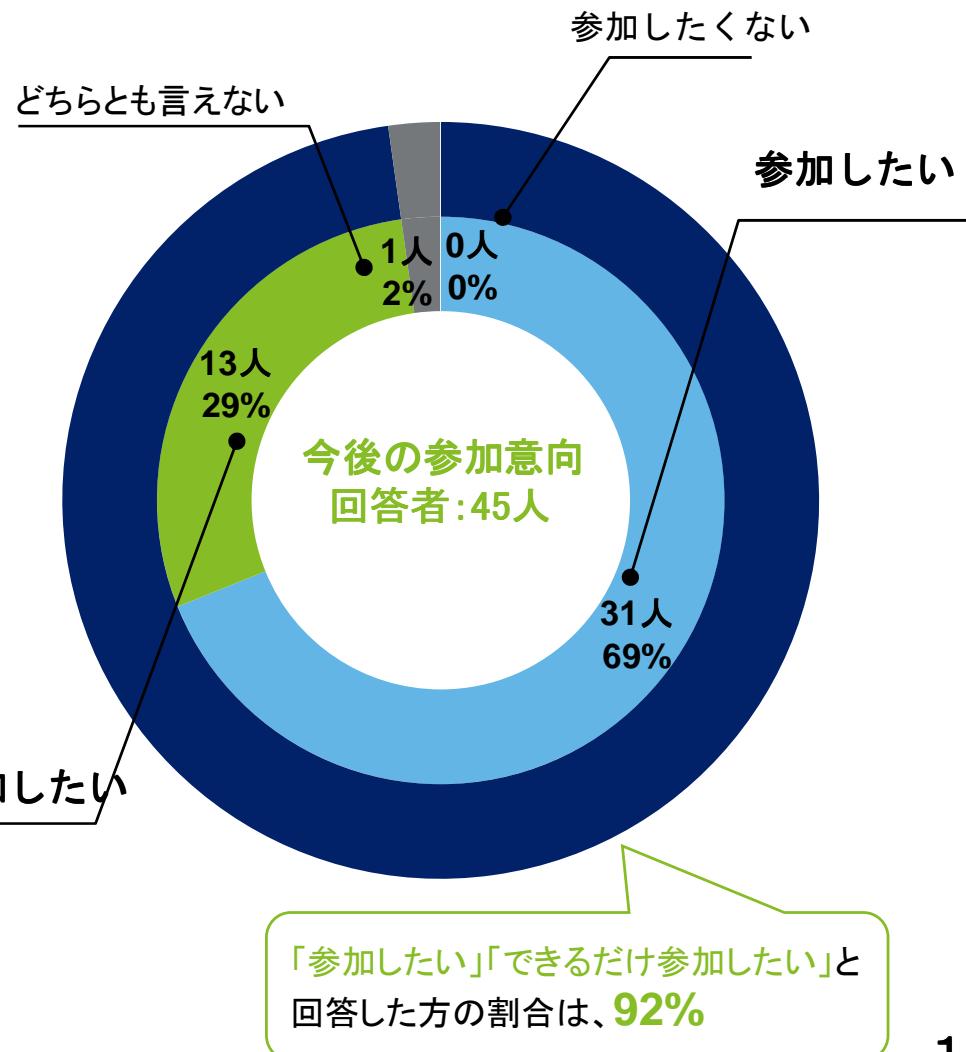
時間については、67%の方が「ちょうど良かった」と回答され

今後の参加意向については、約9割の方が次回の参加に前向きな回答をしました。

(3) 本日のワークショップでの話し合いの時間(長さ)はいかがでしたか?



(4) 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか?



第3回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワークショップに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
対話について	自分以外の意見や考えを知り、視野が広がったと思います。
	全く知らない難しい課題もあったが、自分なりに考えてみての意見でした。
	はじめて参加してみて、紀の川市をより良いまちにするためにたくさん的人が意見を出して話し合っていることを初めて知りました。
	活発な意見交換ができ充実していました。今後、話し合った内容をしっかり活かしていってほしいです。
	地域づきあいが少ないと感じる人が多い。
	紀の川市の考えている問題が他人事ではなかったこと。
	日本にもたくさんの改善すべき点があることから、自分でもできるようなことはどんどんやっていければよいと思いました。
	積極的に発言する人が多く、本当に紀の川市を盛り上げたいと思っているのだと思いました。

第3回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワークショップに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
参加者の属性について	<p>学生さんの参加は良かったと思いますが、一部の高校生だけなのが残念だった。</p> <p>高校生の活躍に感動。どんどん参加してほしい。</p> <p>交流ができたよかったです。 学生をもう少し多数参加してもらってはどうか。</p> <p>老若男女があり良かった。</p> <p>市民の意見公聴会？年代別にアンバランスだった。</p> <p>高校生たちの鋭い意見や感想が楽しかったです。</p> <p>これほどの人が紀の川市のためにワークショップに参加していて素晴らしいことだと思いました。 高校生も多く参加していて、この先の紀の川市は明るいかもと思いました。</p> <p>高校生と楽しく会話できてうれしかったです。</p> <p>年齢や男女での意見の差などがよく感じられた。こういうイベントを増やしていくのが大切だと思う。</p> <p>高校生の若い方たちと意見交換できる場がとても楽しかったです。</p> <p>世代間交流ができ楽しい時間を過ごすことができありがとうございました。</p> <p>世代が違う人たちがいるからこそ様々な意見が出て、よく知らないことがよくわかり、少しずつでもよくなっていくよう自分なりに頑張っていきたいと思います。</p>

第3回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワークショップに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
今後の進め方について	前回、前々回とは違い、資料がありテーマについて話しやすかったです。
	第2回の時より話し合いや色々なテーマの話ができてよかったです。
	市全体でなく、町内会と自治区で実施すればよい。
	だした案に対し、結局何するの？と聞きたくなるのがあったので、自分で書くときはもっと書けたらよいと思いました。
	方針の準備から広報などで周知するのがよいと考える。

第3回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワークショップに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
その他	とても良かったです。
	市民・学生が市をどのように考えているか。 また、市行政の内容をもっと知りていただく事業が必要と感じた。
	高校生を引率し、引率とともに大変興味深い活動となりました。Koko塾教育班では、JR和歌山線とのコラボ「電車でしゃべり場(仮称)」を構想しています。その折にはご協力をお願い致します。
	すごく楽しかったので、紀の川市のことたくさん考えられる機会を増やしてほしい。
	今回のワークショップが最終回ということで3回参加させていただきました。 たくさんの方々と話し合ったことが、紀の川市に反映されることを楽しみにしています。
	初めて参加してこの活動の楽しさ、価値観の違いを認識できた。
	今日も素敵な方たちとの出会いがありました。また頑張れます。
	何事も実現する前には「したい」「やりたい」などの意見を持つことが大事だと思った。